

さいたま市長メッセージ（令和4年11月18日）

皆さん、こんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

本市では、11月17日発表分までの1週間で、4,922名の新規陽性者が確認されました。今のところ、第7波と比べ増加の傾向は緩やかですが、すでに第8波に入ったとの見方もあります。

季節性インフルエンザについては、県内では、まだ流行の兆しは見られませんが、都内の小学校が学級閉鎖となるなど、新型コロナウイルスとの同時流行の可能性が増してきていると感じています。

さて、この冬は、同時流行に加えて、社会経済活動が活発化し、人との接触機会が増えることにより、発熱する方が多くなると考えられます。市民の皆様には、改めて、抗原検査キットと解熱鎮痛剤の事前購入を、お願いします。重症化リスクの高い方や、小学生までのお子さまなどが滞りなく発熱外来を受診できるよう、中学生から64歳までの、重症化リスクの低い方は、まずは抗原検査キットでセルフチェックをしていただくことが重要です。発熱時に慌てることのないよう、また、必要な方が必要な医療を受けられるよう、皆様のご協力をお願いします。

さらに、新型コロナウイルスと季節性インフルエンザのワクチン接種を希望される方は、早めの接種をお願いします。本市では、オミクロン株に対応した新型コロナウイルスのワクチン接種を進めております。年末年始に旅行や帰省を予定されている方は、特に、接種の検討をお願いします。

朝晩に冷え込む日が続いています。皆様には、体調に十分注意し、日々の検温や感染症対策をしながら、過ごしていただきたいと思います。